慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	最近日本における現代中國關係主要雜誌論文目錄 : 1955年4月 ~ 1957年9月
Sub Title	Bibliography of articles on modern China published in Japan 1955-1957 (2)
Author	石川, 忠雄(Ishikawa, Tadao)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1958
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.31, No.12 (1958. 12) ,p.59- 77
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	資料
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19581215-0059

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

最近日本における現代中國關係
主要雜誌論文目錄

——1955年4月～1957年9月——

石　川　忠　雄

いまから二年ほどまえ，わたくしは，研究會の學生諸君の協力をえて，「戰後日本における現代中國關係主要雜誌論文目錄」と題するビブリオグラフィを本誌に發表し，さらにそれを一冊のパンフレットにまとめて刊行したことがある。この論文目錄は，政治・經濟・法律・社會・文化およびその他の各項目について，一九四六年一月から一九五五年七月までに日本で發表された現代中國關係の論文をあつめたものであり，わたくしは，その後もこの仕事を繼續したいと考えていた。幸い研究會の一部の學生諸君の協力をえることができたので，前記の論文目錄の繼續として，差當り一九五五年四月から一九五七年九月までの現代中國關係論文を前の目錄と同一の分類にしたがつて收錄し，發表することとした。一部分重複するところがあるけれども，これは前の目錄がわたくしの渡米直前に作成され，一九五五年の初期の論文については十分な探究がおこなわれなかつたからにほかならない。

この種の目錄については，完全を期することが極めて困難なことはいうまでもない。今後もできうるかぎり，その補正につとめるとともに，この仕事を長期にわたつてつづけていきたいものと考えている。この目錄がすこしでも現代中國關係研究者のお役にたてば幸せである。なおこの目錄作成にお手傳いいただいた學生諸君は，筒井廣志・植木正宏・相澤正道・平井宏・鈴木敎之・奥田啓介・石井敬宏の諸君である。記して感謝の意を表したいと思う。

政治
經濟
法律
社會
文化
その他

法律

〔一九五五年四月—十二月〕

□中共の兵役法（一・二）
〔大陸問題四の四・五・六〕……古田　時夫

□中華人民共和國憲法論序説
〔政經論叢四の三〕……伊藤　滿

□中國憲法の比較考察
〔天地人四の二〕……井上　光哉

□中華人民共和國憲法及び四組織法
〔法學研究二八の三〕……及川恒忠・石川忠雄

□新中國憲法における領域條項について
〔國際政經事情一九〕……川崎　一郎

□中國憲法の特質
〔國際政經事情一九〕……鈴木　安藏

□中國の新憲法を中心とする課題
〔國際政經事情一九〕……高橋　勇治

□中華人民共和國憲法
〔國際政經事情一九〕

□新憲法における中華人民共和國主席の職位
〔國際政經事情一九〕……松葉　秀文

□中華人民共和國憲法にかんする一考察
〔産業勞働研究所報九〕……柳　春生

□新憲法下における社會保障とその經濟的意義
〔國際政經事情一九〕……杉本　出雲

□アジア法律家會議の意義とその成果
〔自由と正義六の六〕……松井　康治

□中共の民兵制度（上・下）
〔コムミュニズムの諸問題三の二・三〕……丁　勵

□インドと中國の法律事情
〔判例時報四七〕……高木　右門

□婚姻法通俗講解材料
〔立命館法學一一〕……西村　信雄

□中華ソヴェト共和國婚姻條例
〔法律時報二七の九〕……仁井田陞他

□輸出輸入商品檢査暫行條例
〔アジア經濟旬報二五九〕

□中國革命と離婚法
〔法律時報二七の七〕……大塚　勝美

□中國の離婚裁判
〔ケース研究三〇〕……鍛治千鶴子

□中國共産黨勞働立法史料
〔法經論集（愛知大學）一三・一四〕……向山　寛夫

□中國憲法の文章
〔思想三七五〕…さねとう・けいしゆう

□中國憲法の政治組織
〔比較法研究一一〕……鵜飼　信成

□中國憲法における人民主權の性格
〔比較法研究一一〕……黒田　了一

□中華人民共和國憲法に關する共同研究—概觀
〔比較法研究一一〕……仁井田　陞

□中國憲法と民族の問題
〔比較法研究一一〕……平野義太郎

□中國憲法とその最終草案との相違點
〔法律時報二七の一〇〕

□中華人民共和國全國人民代表大會及び地方各級人民代表大會選擧法
〔レファレンス五九〕……田村　八郎

□中國における辯護士のあり方
〔アジア經濟旬報二六六〕

〔一九五六年〕

□中華人民共和國憲法について
〔社會科學研究七の二・三・四〕……高橋　勇治

□憲法體制原理としての民主集中制
〔政經論叢（廣島大學）五の三・四〕……伊藤　滿

□中華人民共和國婚姻法及び婚姻登記所法
〔國際政經事情二〇〕

□中國新婚姻法の基本的性格
〔國際政經事情二〇〕……黒木　三郎

□上海國是會議乙種憲法草案について
〔國際政經事情二〇〕……石川　忠雄
□中國に於ける近代的法の形成
〔早稻田法學會誌六〕……宮坂　宏
□中華人民共和國に於ける結婚登記について
〔東洋文化二一〕……淺井　敦
□新憲法下の中國人民法院
〔ソヴェト法學一の五〕……福島　正夫
□中國の人民陪審
〔中國資料月報九七〕
□國際法上よりみた中國問題
〔日本法學二二の一〕
□新中國の政治法律雜誌「法政研究」について
〔法律時報二七の一二〕……宮內　裕
□モンゴリアの遊牧の民に於ける親子關係
〔法律論叢三〇の二〕……島田　正郎
□臺灣民主國の成立とその法的地位
〔富山大學紀要經濟學論集一〇〕
……新田　隆信
□中國憲法に於ける「人民と公民」—中華人民共和國憲法の一斷面
〔政經論叢(廣島大學)六の一〕
……伊藤　滿
□ソ連・中國の人民裁判
〔判例時報八二〕……青柳　盛雄

〔一九五七年一月—九月〕
□新舊中國の憲法と政治體制
〔アジア問題五の五〕……仁尾　一郎
□中共鐵道從事員勤務時間暫行規程
〔外國交通調査資料一〇の一〇〕
□中華民國新國際司法規定
〔法學協會雜誌七三の六〕…歐　龍雲
□中共の企業形態法
〔福岡大學法學論叢一の二〕
……高田　源清
□少數民族の憲法的處遇—中華人民共和國憲法の一斷面
〔政經論叢(廣島大學)六の三・四〕
……伊藤　滿
□中國に於ける發明奬勵に關する條令と商標登錄條例（一・二）
〔パテント一〇の五・六〕…由比忠之進
□中國勞働法の理論と實際
〔勞働法一〇〕……陶百川、向山寬夫
□中國の人民陪審員制度
〔法律のひろば一〇の六〕…幼方　直吉
□新中國の裁判と逮捕勾留手續
〔法律時報二九の八〕……森川　金壽
□新中國の裁判と人民律師
〔正義と自由八の六〕……森川　金壽

社會

〔九五五年四月—十二月〕

□中共の社會保障
〔月刊社會保障九の六〕……光岡　玄

□一九五四年の中國大陸の水害
〔大陸問題四の三〕……伊藤　利雄

□中國の人口調査發表さる
〔世界經濟一〇の五〕

□新中國の戀愛・結婚・家庭
〔婦人公論四〇の四〕
……エンディコット、M・A

□中國における婦人の解放
〔部落六五〕……西村　信雄

□中國における奴隷勞働者
〔經營者九の四〕

□グロート「庭門における年中行事」
〔社會科學研究四〕……淡野安太郎

□これが〝共産圏の生態〟（座談會）
〔經營者九の七〕……前田　亘他

□見てきた中國の農村
〔農業協同組合一の五〕……坂井　治吉

□明るい中國勞働者
〔官公勞働九の七〕……高野　實

□新しい中國の新しい支柱
〔世界週報三六の二一〕……高野　實

□勞働者として見てきた新中國
〔日勞研資料八の二〇〕……高野　實

□新聞投書欄から覗いた中共社會の實相
〔ソ連研究四の九〕……細谷　蠣太

□中國の農協風景
〔經營實務一〇の八〕……池田　恒雄

□中國の資本家と勞働者
〔アジア經濟旬報二六〇〕

□中國の勞働者についての覺書
〔東洋文化一八・一九〕……佐伯　祐一

□中共の青少年
〔世紀六九〕

□中國の近代化
〔歴史教育三の一二〕……大村　茂夫

□中國のかたすみ
〔自警八七の一一〕……中村　茂

□北京の蠅退治
〔新論一の四〕……今西　つた

□五ヵ年計畫における勞使・文化・福利・衛生計畫
〔アジア經濟旬報二七二〕

〔一九五六年〕

□勞働者の最近の經濟生活
〔アジア經濟旬報二九〇〕

□中共の人口問題
〔エカフェ通信八五〕

□中共に於ける勞働事情
〔海外勞働經濟月報六の五〕

□ソ及び中國の産業勞働事情
〔討論四九〕……菊地　勇夫

□中共の社會と日本の社會
〔關西經協一〇の一〕……久保　專治

□中國に於ける社會保障
〔社會科學研究二の一〕……横山　宏

□中共の食糧と人口問題
〔エカフェ通信九三〕

□一九五五年における國民生活の改善
〔アジア經濟旬報二九五〕

□内田智雄著「中國農村の分家制度」
〔法と政治七の二〕……張　源祥

□中國に於ける主婦と家事勞働
〔アジア經濟旬報二九六〕

□社會道德
〔東洋の文化と社會五〕……湯淺　幸孫

□中國に於ける遺家族・留守家族・傷痍軍人・復員軍人の保障について
〔國際政經事情二一〕……杉本　出雲

□新中國に於ける政法教育その他
〔國際政經事情二一〕……黒木　三郎

〔一九五七年一月—九月〕

□中國の鐵道勞働者

現代中國關係主要雜誌論文目錄

〔アジア經濟旬報三〇九〕

□中國の社會保障
〔共濟時報五の二〕……横山　宏

□中國の同族又は村落の土地所有問題
〔東洋文化研究所紀要一〇〕……仁井田　陞

□中國における勞働問題
〔大平洋問題三四〕……天野元之助

□中國農民生活の背景
〔修道短期大學論集五の二〕……大崎富士夫

□中國の人口問題と産兒制限
〔世界一三八〕

□中國人口問題新論
〔海外經濟月報一五六の五〕……吳　景超

□中國農村生活今昔譚
〔世界經濟評論三八〕……李　景漢

□中共の勞働組合と勞働者
〔海外事情五の六〕

□社會主義建設に於る勞働組合の役割
〔社會主義七〇〕……賴　若愚

□新中國の青年達
〔社會教育一二の四・六〕…寒河江善秋

□中共雜感
〔鐵鋼界七の一〕

□北京日錄抄
〔心一〇の二〕……谷川　徹三

□病中の贈物
〔北斗二の一〕……蕭　軍

□中國よもやまばなし（座談會）
〔民藝五四〕……對馬好武他

□中國協同組合の動向
〔經濟集志二七の一〕……山下　祥一

□人口問題若干の側面
〔大陸問題六の八〕……井崎喜代太

□新しく且つ古い中國
〔婦人公論四二の九〕……野上彌生子

□中國の都市
〔都市計畫六の一〕……石林　太助

□最近の中國保險事業
〔アジア經濟旬報三二六〕

文化

〔一九五五年〕

□中國に於ける愛國心と歴史教育
〔中國資料月報八四〕

□中共の教育方針と新學制
〔鹿兒島大學教育學部研究紀要六〕……裏　善一郎

□ソ連中共の科學水準
〔心八の九〕……茅　誠司他

□對共問題に弱い日本知性
〔大陸問題四の一〕……苗　劍秋

□五四以來胡適派は中國の古典文學をいかに歪曲したか（上・中）
〔日本文學四の六・七〕……何　幹之

□新建設に伴う考古學上の發見
〔考古學雜誌四〇の四〕

□中國思想における實踐論の轉回
〔思想三七〇〕……山本　秀夫

□中國思想研究の新方法
〔東方學一〇〕……ライト・A

□中國の社會と宗教
〔歴史教育三の四〕……太田常雄・山崎宏編

□中共における信仰の自由
〔コムミュニズムの諸問題三の五〕……スペルマン・フランシス

□中國現代史
〔東洋史研究一三の六〕……岩村三千夫・野原四郎

□現代史をいかに學ぶべきか
〔中央評論三八〕……江副　敏生

□清末・現代
〔史學雜誌六四の五〕……佐々木正哉

□新しい中國の圖書館にかんする文献目録（一）
〔圖書館界七の一〕……菅原　宏子

□臺灣紀行
〔食糧管理月報七の四〕……川口　文雄

□勞働者の目でみた中ソ
〔平和三七〕……草川　昭三

□中國新文學運動論
〔明治學院論叢三七〕……大山　正春

□中國における愛國主義教育
〔歴史の研究三〕……白石　義夫

□ロシヤとシナの文化
〔日本及日本人六の七〕……淺野　晃

□中華人民共和國の文化政策
〔心八の八〕……安部　能成

□中國における思想のたたかい
〔中國資料月報九〇〕

□福井康順著「現代中國思想」
〔人文論究一四〕……加賀　榮治

□現代中國における傳統文化の問題
〔信濃教育八二四〕……吉川幸次郎

□中國人如是說（柳剛譯）
〔綜合文化一の二・三〕……胡　蘭成

□中蘇の學風一端
〔世界一一六〕……桑原　武夫

□新しい中國の生活と文化活動
〔農業協同組合一の七〕……富田　金吾

□暗き夜の學問のあり方
〔圖書七〇〕……幼方　直吉

□古い中國觀への警告
〔文藝春秋三三の一三〕……村田　省藏

□私の見たソ連と中國の教育
〔學校教育四五五〕……長田　新

□愛される子供たち―ソ連中國の教育
〔平和四〇〕……長田　新

□人民大學とはいかなる大學か
〔世界一一六〕……大内　兵衛

□社會主義リアリズムのために闘う中國話劇
〔テアトロ一七の八〕……張　元年

□成長する新中國の音樂
〔音樂藝術一三の八〕……村松　一彌

□新中國の兒童文學と日本の子ども
〔日本文學四の九〕……齋藤　秋男

□中國の國學國語政策をめぐつて（座談會）

〔言語生活四八〕……倉石武四郎他

□中國の作文教育運動
〔ことばの教育一七の八〕…齋藤　秋男

□さいきんの中國の國語運動
〔ことばの教育一七の八〕
……さねとう・けいしゅう

□中國における標準語の成立
〔歷史教育三の九〕……藤堂　明保

□民間文學雜談
〔北斗一の五〕……今村與志雄

□ソヴィエト中國では若い作家はいかに育てられるか
〔文學二三の九〕……岩上　順一

□新中國のキリスト教
〔平和四〇〕……松本　正夫

□共產國家に言論の自由ありや
〔實業之日本五八の一七〕…茅　誠司

□中國科學院歷史研究編輯委員會編「歷史研究」について
〔歷史學研究一八六〕……上原　淳道

□中共治下の新聞と雜誌
〔大陸問題四の一一〕

□中國に於ける佛教と政治
〔大世界一〇の一一〕……荒井　英悟

□ソ中學術視察團の報告講演會をきいて
〔世界一一九〕……松下　次郎

□中國の學術研究機關を訪ねて
〔學術月報八の六〕……淺見　與七

□中國の大學・研究所を視察して
〔學術月報八の六〕……大內　兵衛

□中國における人文・社會科學
〔學術月報八の六〕……菊地　勇夫

□訪中學術視察團行動概要
〔學術月報八の六〕……竹下　俊雄

□五カ年計畫下の中國科學院
〔アジア經濟旬報二六八〕

□中國の學術體制
〔學術月報八の六〕

□共產主義とアジヤにおける基督教
〔神學四〕……アイグルハート・C

□中國傳道の開拓
〔埼玉大學紀要(社會科學)四〕
……矢澤　利彥

□康有爲展望
〔拓殖大學論集九〕……長瀨　誠

□中國の諺
〔漢文學四〕……山本平太郎

□福井康順著「現代中國思想」
〔史學雜誌六四の九〕……浦井　公敏

□「飜身」について
〔人文研究六の一〇〕……中島龍太郎

□譚嗣同の「仁學」についての序說
〔廣島大學哲學五〕……石黑　俊逸

□中國民族的理念の轉換
〔東洋學研究一一〕……石島　快隆

□中國における寬容について
〔思想三七一〕……貝塚　茂樹

□康有爲の變法思想
〔アカデミア一一〕……佐藤　震二

□變貌する中國佛教
〔大法輪二二の一〇〕……中濃　教篤

□林則徐の合理主義とその限界
〔歷史學研究一九〇〕……田中　正美

□中國科學院歷史研究編輯委員會編輯「歷史研究」について
〔歷史研究一八八〕……佐伯　有一

□胡風の追放—波瀾萬丈の中共文藝界
〔世界週報三六の一九〕……井上　昌三

□胡風批判の意味するもの
〔アジア經濟旬報二五七〕

□社會主義リアリズムのために戰う中國の話劇
〔悲劇喜劇九の一一〕……張　光年

□文字改革の新段階と標準語の普及
〔アジア經濟旬報二七二〕

□人民文學について
〔新中國文學一〕……相浦　杲

□胡風批判の動き
〔新中國文學二〕……大河內康憲

□胡風批判の經過とその論點
〔中國文學報三〕……太田　進

□新中國の作家生活（對談）
〔世界一一八〕……謝　冰心他
□最近の中國に於ける民衆文藝研究の動向
〔日本文學四の一〇〕……服部　靖
□人民共和國に於ける世界文學選讀書目
〔中國文學報二〕……都留　春雄
□中國における言語表現の革命
〔思想三七六〕……岡崎　俊夫
□倉石武四郎編「變革期中國の研究」
〔歴史學研究一八八〕……野澤　豐

〔一九五六年〕
□五・四時代の陳獨秀の思想
〔思想三八〇〕……新島　淳良
□歌舞伎と新中國の演劇
〔演劇界一四の一〕……奥野信太郎他
□歌舞伎海を渡る（座談會）
〔世界一二一〕……市川猿之助他
□延安文藝座談會に於ける講話について
〔信濃教育八三〇〕……小松　忠志
□北京の再會
〔知性三の二〕……市川猿之助
□中國に於ける歌舞伎
〔日本文學五の一〕……濱村　米藏
□歌舞伎と中國演劇
〔天地人五の一〕……戸板　康二
□私のきいた話
〔世界一二二〕……中村翫右衛門
□サルトル中國の印象を語る
〔世界一二二〕……カロル・K・S
□中國の人間の中で起つていること
〔思想三八〇〕……高桑　純夫
□新中國の青少年團體
〔社會教育二の二〕……山田　清人
□中國近代詩の基調
〔學術研究四〕……陣ノ内宣男
□白毛女と老國文學者
〔世界一二二〕……高木市の助
□中華人民共和國の演劇
〔中央公論七一の一〕……中村翫右衛門
□京劇の國を覗く
〔文藝春秋三四の一〕……中村翫右衛門
□新中國の戀愛と結婚
〔知性三の三〕……石垣　綾子
□中國の大學教育と學生々活
〔中央評論八の三〕……荻原　正三
□中共の教育　わが體驗を通して
〔太平洋問題一一〕……松村　勇夫
□中共の學校教育の一實態
〔大陸問題五の一〕……古田　時夫
□新聞記者の見た新中國の教育
〔教育技術一〇の一三〕……今井　金吾
□中國知識人にかんする統計
〔アジア經濟旬報二八〇〕
□郭沫若の言を讀んで
〔心九の二〕……長與　善郎
□郭沫若一行を迎えて
〔教育六の三〕……羽仁　說子
□郭沫若さんを迎える詞
〔心九の二〕……安部　能成
□日中文化の交流
〔國民の科學一一〕……郭　沫若
□中國の教會をたずねて
〔福音と世界一一の一〕……石原　憲治
□一九三五年度の中國研究と今後の問題點
—文化・教育
〔アジア經濟旬報二七六〕
□毛澤東「實踐論・矛盾論」を讀む
〔教育史研究二の一〕……富永　義秀
□一フランス人の清朝文化批判
〔文學論叢（愛知大學）九〕…鈴木　中正
□日中兩國近代化の一比較
〔歴史教育四の二〕……藤本　光
□中國の劇作家たち
〔現代劇二の三〕……梁　孟廻
□中國の芝居
〔世界一二四〕……千田　是也
□中國佛教と信仰の自由
〔文法論二三の二〕……大谷　堅潤
□戰後ドイツ支那學の狀況
〔讀書春秋七の二〕

……ワラフト・バルバラ

□新中國の教育視察
〔北海教育評論九の三〕……米田　勳

□中國近代文學のなかの舊文學（下）
〔北海道學藝大學紀要（第一部）六の二〕……杉森　正彌

□中國の芝居（一・二・三・四・五・完）
〔新劇二五・二六・二八・三〇・三一・三二〕……千田　是也

□譚嗣同の思想に於ける「仁」の意味
〔アジア研究三の四〕……折下　功

□新中國の人間喜劇
〔文藝春秋三四の六〕……甲斐せん子

□魯迅の紹興
〔國書七九〕……中村　哲

□中國の新しい文學
〔國書七九〕……倉石武四郎

□京劇について
〔新劇二七〕……梁　孟廻

□中國最近の文學・言語問題の動き
〔言語生活五七〕……村尾　力

□中國のローマ字化を日本人はこう考える
〔ことばの教育一八の五〕…荒　正人他

□中國の埋藏文化財
〔日本文化財一三〕……原田　淑人

□六年來の中國に於ける考古事業
〔考古學雜誌四一の三〕……尹　達

□中國のキリスト教界見たまゝ聞いたまゝ
〔開拓者五一の四〕……石原　憲治

□中國に於ける知識人問題
〔アジア經濟旬報二八五〕

□中華人民共和國民の愛國心について
〔社會教育一一の五〕……阿部　宗光

□進む中共の文字改革
〔マネジメント・ガイド二の四〕

□中國文字改革の現代段階
〔明治學院論叢四一〕……大山　正春

□中國の漢字簡化について
〔經濟學の進歩のために二の三〕……松井　武男

□中國社會史上の時代區分について
〔東方學一二〕……錢　穆

□中國人の心理
〔日本及日本人七の七〕……國松　文雄

□近代中國思想における傳統と價値
〔法學新報六三の八〕……折下　功

□新中國に於ける教師像の問題について
〔教育科學研究報告二〕……増田　史郎

□タイ國に於ける華僑學校問題
〔東京外國語大學論叢五〕…中島　慰

□第一次五ヵ年計畫における中國演劇
〔テアトロ一八の六〕……大芝　孝

□梅蘭芳と京劇
〔テアトロ一八の六〕……梁　孟廻

□京劇團と行を共にして
〔演劇界一四の一〇〕……大木　實他

□京劇團隨行記
〔テアトロ一八の九〕……大木　實他

□梅蘭芳一行の京劇の魅力
〔幕間二の七〕……伊藤　壽二

□民族接觸による文化變容に關する一考察
〔東洋文化紀要七〕……吉岡　進

□京劇
〔民藝四四〕……村上　知行

□京劇の現狀と梅蘭芳
〔アジア經濟旬報二九〇〕

□京劇の印象
〔幕間二の八〕……北岸　佑吉

□京劇の發展と梅蘭芳
〔世界一二三〕……奥野信太郎

□中國に於ける若い職場作家の問題
〔アジア經濟旬報二九二〕

□京劇の印象
〔演劇界一四の七〕……戸板康二他

□梅蘭芳を支えるもの
〔藝術新潮七の八〕……木下　順二

□京劇の殘していつたもの
〔悲劇喜劇一〇の八〕……松山　薫

□中國文學をめぐる附話
〔新潮五三の一〇〕……岡崎　俊夫

□新しい社會に自立する教會

〔福音と世界一一の九〕……武田　清子
□中國の規律教育について
〔大阪學藝大學紀要(人文科學)四〕……高濱　介二
□中國文學に現れた女性について
〔神戸大學論叢七の一・二・三〕
□中國音樂界の雪どけ
〔音樂藝術一四の一一〕
□ソヴェト・中國美術見學
〔新日本文學一一の一二〕…井上長三郎
□中國に於ける全面的發展の教育
〔教育六の一〇〕……山田　正敏
□中國小說劇曲詞彙研究辭典綜合索引篇
〔横濱市大紀要〕……波多野太郎
□中國における政治のリアリズムと文學のリアリズム
〔中央公論七一の一二〕……竹内　實
□中國の傳統と外來文化
〔綜合文化二の一二〕……徐　復觀他
□新中國の宗教事情
〔大世界一一の一二〕……中濃　教篤

〔一九五七年一月—九月〕

□中國における宗教迫害最近の發展
〔世紀八四〕……モンステルー・J
□中國の書物のことなど
〔世界一三四〕……神田喜一郎
□中國民族學報・第一期
〔史學二九の三〕……伊藤　清司
□「暗い夜」の責任
〔新中國三〕……安藤彦太郎
□さかんな風景
〔知性四の一〕……なかの・しげはる
□不幸なる五〇年
〔世界一三四〕……野原　四郎
□高まる日中科學技術の交流
〔エコノミスト三五の八〕…堀　利貞
□最近日中間の技術交流について
〔日本經濟のうごき四三〕
□日中技術交流について
〔調査月報(總理府)一五〕
□昭和文學に於ける中國像
〔中國資料月報一〇六〕
□周恩來の南アジア旅行
〔世界一三四〕
□中國における義務教育
〔中國資料月報一〇七〕
□中國の女方のはじまり
〔新中國三〕……濱　一衞
□京劇詩集
〔新中國三〕……十河　巖他
□中國劇評家としての辻聽花
〔新中國三〕……中村　忠行
□日本に保存されている中國繪畫
〔日本文化財二二〕……ケイヒル・J
□中國土產
〔心一〇の二〕……里見　弹
□中國語に於ける品詞分類の標記について
〔藝文研究六〕……川本　邦衞
□中國文學改革の道
〔ことばの教育一九の一〕…吳　玉章
□中國における句とう點のつかい方
〔ことばの教育一九の二〕
……さねとう・けいしゆう
□西鶴の中國系說話（三）
〔近代一八〕……笠井　清
□中國の簡字
〔新聞研究六八〕……原田　稔
□魯迅にちなんで
〔新中國三〕……中村　哲
□日本に於ける魯迅
〔新日本文學一二の三〕……許　廣平
□魯迅の「兩地書」
〔圖書八二〕……大内　兵衞
□中國史分期論に關する覺書
〔文學論叢(愛知大學)特〕…內藤　戊申
□日中關係史上に於る大化の改新の地位
〔日本歷史一〇五〕……曾我部靜雄
□中共の孝道談義
〔大陸問題六の四〕……濱野　正己
□轉機に立つ中國の圖書館活動

〔圖書館雜誌五一の三〕
□中共の文化政策
〔海外事情五の四〕
□「大民話」と「小民話」
〔北斗二の六〕……竹内　實
□中ソ科學技術協力の實體
〔アジア經濟旬報三二〇〕
……ルイセンコ・J
□中國研究について
〔海外事情五の四〕……草野　文男
□新中國における教育映畫の製作配給
〔視聽覺教育一一の四〕
□中共の「學制改革に關する決定」
〔學校經營二の五〕
□中國の戲劇改革論の一側面
〔東洋文學研究五〕……原田　正己
□新中國戲曲の主題
〔神戸外大論叢七の五〕……大芝　考
□中國語における命令と商量について
〔中國語學五九〕……内田　道夫
□中國語「新語」の研究
〔中國語學五九〕……大芝　考
□《龍》の歴史について
〔中國語學六二〕……太田　辰夫
□中國語は「名詞過多」である？
〔中國語六二〕……佐藤　利行
□含義と表意について
〔久留米大學論叢（人文・社會科學）六の二〕……鮫島　國三
□中華人民共和國の國語政策
〔文學論叢（愛知大學）特〕…鈴木　擇郎
□動詞單用の使動式
〔中國語學五九〕……高橋　君平
□近年における中國の言語研究の發展
〔東方學一三〕……董　同龢
□中國語の音韻研究
〔東方學一三〕……董　同龢
□文法論の性格
〔中國語學六三〕……藤堂　明保
□現代中國文法の研究
〔中國語六二・六三〕
……ドラグウノーフ・ア・ア
□日本人編纂中國俗語辭書の若干について
〔天理大學學報八の三〕……鳥居　久靖
□日本に於ける中國語學遺産の整理について
〔中國語學六一〕……鳥居　久靖
□現代北京語の音聲學的考察
〔人文學報（都立大學）一六〕
……永島榮一郎
□中國語の非自立的形式について
〔中國語六〇〕……山岸　共
□中國語ローマ字化への道
〔アジア經濟旬報三二一〕
□中國語法の發達
〔神戸外大論叢七の五〕……太田　辰夫
□太平洋戰爭中在支邦人學校狀況
〔姫路工業大學研究報告（一般教育關係）〕……大柴　衛
□新中國の標準語問題
〔文學論輯四〕……那須　清
□善良な詩人達（一）
〔北斗二の四〕……宇田　禮
□戲曲刑敍記はいかに改作されているか
〔中國文學報六〕……岩城　秀夫
□最近の中國における琵琶記論爭
〔中國文學報六〕……岩城　秀夫
□最近文獻目錄
〔中國文學報六〕
□人民内部の矛盾と文藝界
〔アジア經濟旬報三二七〕
□人民と詩
〔新潮五四の四〕……吉川幸次郎
□中國における文藝復興
〔世紀八八〕……モンステルレ・J
□改作は常に成功するか
〔北斗二の四〕……檜山　久雄
□新青年と青年雜誌（上）
〔北斗二の六〕……川本　邦衛
□チェコにある中國美術
〔藝術新潮八の六〕……北川　桃雄

□中國の民謠
〔北斗二の六〕……村松　一彌
□福建語の教會ローマ字について
〔中國語學六〇〕……王　育德
□中國でも惱む地名人名の「生僻字」
〔言語生活六七〕……原田　稔
□中共の新文字と漢字教育
〔斯文一八〕……松井　武男
□延安文藝座談會における講話に學ぶ
〔前衞一二九〕……藏原　惟人
□魯迅「一件小事」に就いて
〔明治學院論叢四五〕……大山　正春
□魯迅とゲーテ・コルヴィッ
〔北斗二の一〕……小野田耕三郎
□魯迅—抵抗の姿勢
〔國際政經事情二二〕……近藤　晴彥
□魯迅飜譯論考
〔中國語學六〇〕……志賀　正年
□魯迅譯文體の一樣相
〔中國語學六一〕……志賀　正年
□魯迅の飜譯研究
〔天理大學學報八の二〕……志賀　正年
□魯迅について
〔人文學報(都立大學)〕……伊藤　敬一
□中國に於ける佛教倫理
〔人文研究(大阪市立大學)八の五〕
……諸戸　素純

□宗教政策を貫徹する問題について
〔福音と世界一二の七〕……吳・燿宗
□中國語法上の若干問題點
〔人文研究(大阪市立大學)八の七〕
……望月八十吉
□「漢語の簡約性」
〔研究(神戸大學)一四〕……高橋　君平
□魯迅傳覺書
〔北海道大學文學部紀要六〕
……猪俣　庄八
□中國における文法研究
〔机八の八〕……香坂　順一
□毛澤東の文章
〔中國語學六六〕……大芝　考
□李卓吾の文學觀
〔關西學院大學文學論集四の一〕
……倉光　卯平
□中國の歷史教育
〔歷史教育五の九〕……小島　晋治
□臺灣の歷史教育
〔歷史教育五の九〕……楊　杏庭
□中國における教育と漢字
〔机八の八〕……伊地智善繼
□小學生の進學難問題
〔アジア經濟旬報三三八〕
□人民中國の文化と教育
〔教師の友五七〕……かめだ・とうど

□集團主義と國民教育
〔教育七の一〇〕……齋藤秋男他編
□「生命力について」—郭沫若氏の一面
〔新潮五四の七〕……桑原　武夫
□中華人民共和國の歷史教育
〔歷史教育五の九〕……多賀秋五郎
□中國演劇とスタニスラフスキー・システム
〔新藝術五〕……土方　與志
□中共の體育視察から歸って
〔體育の科學七の八〕……竹腰　重丸
□動搖する中共學生
〔世紀九一〕……モンステルレ・J
□今日の中國教會（一・二）
〔福音と世界一二の七・八〕
……丁　光訓
□中國教會の現在と將來（座談會）
〔福音と世界一二の七〕……淺野順一他
□清末傳統思想の一變形
〔國際政經事情二三〕……藤井　宣丸
□嚴復について（覺書）
〔人文研究(大阪市立大學)八の七〕
……增田　涉
□中國地理學界展望
〔人文地理九の二〕……森　鹿三
□我が東洋學界の近況（一四）
〔東方學一四〕……和田　博德

□中國物理學をみて
〔學燈五四の九〕……藤本　陽一

□清末公羊學派の形式と康有爲學の歷史的意義（一）
〔國家學會雜誌七一の七〕…野村　浩一

□張之洞の變法思想
〔アカデミア一七〕……佐藤　震三

□日本における孫文關係文獻目錄
〔思想三九六〕……野澤　豐

□中國における文字改革
〔人文研究（大阪市立大學）八の七〕
……香坂　順一

□文字改革雜感
〔ことばの教育一九の九〕…倪　海曙

□清末文學の周邊
〔北斗三の一〕……佐藤　一郎

その他

〔一九五五年〕

□共産主義のコワサを知らぬ日本人
〔實業之日本五八の一一〕…苗　劍秋

□中國という國名
〔名古屋商工會議所月報一五〇〕
……小林　英二

□北京メーデーからかえつて—アジア・アフリカ勞働者は友好と團結に向つて一歩前進した
〔勞働經濟旬報九の二六六〕
……高野　實

□中共抑留の九年
〔北大季刊八〕……明石　勝英

□周恩來と會つて
〔世界一一二〕……村田省藏他

□オーエン・ラティモアと內陸アジア研究
〔東京外語大學論集四〕……坂本　是忠

□黃河水系の總合開發
〔エコノミスト三三の三五〕

□黃河の綜合開發計畫
〔アジア經濟旬報二六四〕

□社會主義國の住宅をみる旅
〔婦人公論四〇の九〕……船越　輝子

□「支那」と「中國」
〔歷史の研究二〕……佐藤　三郎

□中國の民族性と中共
〔師と友七の八〕……清水　董三

□中國ということ
〔讀書春秋六の九〕……杉本直治郎

□ソヴェト・中國を旅して（對談）
〔世界一一六〕……大內兵衞他

□興國の氣風について
〔世界一一七〕……長田　新

□ソ連・中共を視察して（一・二・三）
〔中等教育資料四の九・一〇・一一〕
……茅　誠司

□ソ連・中國の印象
〔見方考え方二〕……工藤　忠夫

□二カ月の新中國べつ見
〔世界週報三六の二七〕……熊谷　幸博

□ソヴィエト・中國旅行記（一・二・三）
〔新潮五二の九・一〇・一一〕
……桑原　武夫

□ソ連・中國見たまま
〔中央公論七〇の八〕……桑原武夫他

□ソ連・中國五〇日の旅
〔エコノミスト三三の二八〕
……名和　統一

□ソ連・中國を訪ねて
〔中央公論七〇の九〕……南原　繁

□印度・中國の旅から
〔世界と日本二〇〕……長谷川正安

□インド・中國・朝鮮の印象
〔新日本文學一〇の九〕……火野　葦平

□百聞一見と百見一實行—ソ連中國の學術視察から
〔世界週報三六の二三〕……宮地傳三郎

□新中國雜感
〔農林金融八の七〕……丸龜　秀雄

□臺灣その後
〔明窓六の一〕……副島　有年

□宋慶齡との會見と日本の子らへのメッセージ
〔婦人公論四〇の九〕……長田　新

□臺灣・香港・澳門
〔中央公論七〇の七〕……永井　道雄

□臺灣寸描（一・二）
〔師と友七の五・六〕……菅沼　洋

□臺灣現勢報告
〔ダイヤモンド四三の五四・五六〕
……千葉　三郎

□臺灣の日本色
〔世界週報三六の三二〕

□蔣介石に招かれて
〔經濟時代二〇の一〇〕……大野　伴睦

□建國六周年を迎える新中國
〔アジア經濟旬報二六五〕…岩村三千夫

□主としてソ連・中國の病院について
〔勞災六の一一〕……武藤　完雄
□訪ソ訪中の旅
〔世界週報三六の三三〕……野溝　勝
□訪華歌舞伎團に同行して
〔アジア經濟旬報二七二〕…能智　修彌
□長蘆鹽の思い出
〔專賣八一〕……伊東　裕式
□南原繁先生に問う—「ソ連・中國を訪ねて」（南原繁）を讀んで
〔大陸問題四の一〇〕……土居　明夫
□百年河清を待たず
〔文藝春秋三三の二二〕……久原房之助
□新中國で感じたこと
〔新論一の六〕……津久井龍雄
□新中國の體驗を聞く
〔開拓者五〇の一一〕……福地　いま
□周恩來會見記
〔世界一一九〕……横田　實
□ソ連・中國の旅
〔國書七二〕……大内　兵衛
□內山完造編「新中國讀本」
〔調査時報（伊藤忠）七三〕
□會つた人見たこと—中國訪問の印象
〔世界週報三六の二九〕……石上　韶
□イギリス社會主義者の中國觀
〔社會思想研究七の一一〕……ウォトソン・サム
□中國空の旅
〔運輸（運輸省）五の一二〕…岡田　保次
□私の見てきた中國
〔健康保險九の一〇〕……奥　むめお
□古い中國の旅人
〔世界一一九〕……小林　勇
□上海人民遊場
〔東邦經濟二五の一〇〕……坂本　德松
□新中國・行きつ戻りつ
〔自彈三七の一〇〕……高木　健夫
□中國の六大都市を巡って
〔アジア經濟旬報二六九〕…竹內　實
□新中國管見
〔エコノミスト三三の四五〕……田島　正雄
□右翼人、中共を往く
〔世界週報三六の三五〕……津久井龍雄
□赤い國の旅人
〔文藝一二の一三・一四・一六〕……火野　葦平
□息苦しい國々
〔新政界一の一〕……火野　葦平
□中共の論功行賞
〔世界週報三六の三〇〕
□私の見て來たソ連中國
〔經濟展望二七の一一〕……北村德太郎
□ソ連中共を視察して
〔日本物理教育學會誌三の一〕……茅　誠司
□中ソ視察談
〔大陸問題四の一二〕……辻　政信
□中國見聞論爭—「おとなりの新世界」をめぐって
〔世界週報三六の三五〕
□主婦がみた中ソ
〔世界週報三六の三四〕……奥　むめお
□地は血よりも濃し
〔文藝春秋三三の二二〕……清水　董三

〔一九五六年〕

□中共視察旅行雜觀
〔太平洋問題二四〕……功力　寅次
□中共から歸つて
〔太平洋問題一九〕……和田　齊
□中國の旅
〔文學二四の一〕……加藤與兵衛
□北京撮影所見學
〔視聽覺教育一〇の一〕……能智　修彌
□滿洲の宿
〔ホテル・レビュー七の六九、七〇〕……畦地梅太郎
□日本訪問記
〔世界週報三七の六〕……郭　沫若

□香港というところ
〔新聞研究五五〕……山田　友二
□一八年ぶりの日本
〔中央公論七一の二〕……郭　沫若
□高校生のみたソ・中國
〔知性三の二〕……青山登志朗
□新中國の管見
〔太平洋問題二一〕……田島　正雄
□中國よもやま話
〔CHAMBER七〇〕……久保　專治
□中共を見せてもらう
〔太平洋問題二一〕……橘　善守
□新中國の印象
〔再建一〇の一〕……堀　末治
□新らしい中國の旅メモから
〔教育六の二〕……山田　清人
□新中國の建設と科學者
〔歴史評論七三〕
□毛澤東傳（四・五・六）
〔世界一二二・一二三・一二六〕……貝塚　茂樹
□中國都市の印象
〔市政五の二〕……竹内　實
□新中國の人間像
〔世界週報三七の二〕……高桑　純夫
□友あり遠方より來る
〔文藝春秋三四の四〕……何　應欽他

□方諸と陽燧
〔藝林七の二〕……佐　中壯
□翦伯贊氏を圍んで
〔歴史地理教育三の一〕
□中國科學院訪日學術視察團を迎えて
〔歴史教育四の四〕……鈴木　俊
□ドイツに於ける支那學の近況
〔東京支那學報二〕……クラフト・E・S他
□新臺灣ところどころ
〔アジア問題四の二〕……小野　重任
□中共のために役立つ人々
〔日本及日本人七の六〕……想　羊吉
□新中國をみる
〔世界週報三七の一一〕……渡部　光章
□中國からのニュース
〔新聞研究五八〕……横田　實他
□新しい中國を語る
〔關西經協一〇の五〕……森井　庄内
□人民服の世界に絶望して
〔文藝春秋三四の七〕……許　宮
□皇帝溥儀は何を考えていたか
〔文藝春秋三四の九〕……工藤　忠
□ソ連・中國の新しい學風
〔思想三三六〕……小椋　廣勝
□美しくなる中國の服裝
〔アジア經濟旬報二八七〕

□私の見た臺灣の實情
〔自警三八の四〕……芳澤　謙吉
□臺北見聞記
〔世界週報三七の二五〕……山崎　隆造
□中國人の對ソ感情
〔ソ連研究五の九〕……竹内　重壽
□見てきた中國
〔水産界八六〇〕……山崎眞之助
□上海交遊記
〔中央公論七一の一〇〕……谷崎潤一郎
□青年の語る明るい中國
〔開拓者五一の七・九〕……長　清子
□中國觀光事情
〔國際觀光情報一〇四〕
□歡迎中國訪日京劇代表團
〔新日本文學一一の七〕……木下　順二
□天津でのこと
〔テアトロ一八の九〕……尾崎　宏次
□私の見てきたソ連と中國
〔キネマ旬報一五五〕……木下　惠介
□臺灣鐵道におけるディーゼル動車の改良
〔外國交通調査資料一〇の五〕……壽　俊仁
□中國の寺々の印象記
〔大法輪二三の一二〕……宮崎　白蓮
□管見中國印象記
〔開拓者五一の一〇・一一・一二〕

□戰後日本に於ける現代中國關係主要雜誌論文目錄……田崎　健作
〔法學研究二九の六・七・八・九・一〇・一一〕……石川　忠雄
□差し向いの毛澤東
〔文藝春秋三四の一一〕……土居　明夫
□中國とソ連を訪ねて
〔中央公論七一の一二〕……谷川　徹三
□中國はソ連とどう違うか
〔中央公論七一の一二〕
□北滿洲の大洪水
〔ソ連研究五の一〇〕……近藤　義明
□「百花齊放百家爭鳴」に感あり
〔中央公論七一の一二〕……蘭　也牧
□舊軍人の目に映じた中共
〔東洋經濟新報二七四八〕…堀毛　一麿
□訪中共の感想から
〔ソ連研究五の一二〕……堀毛　一麿
□毛澤東主席との會談記
〔大陸問題五の一一〕……土居　明夫
□中共視察報告
〔大陸問題五の一一〕……土居　明夫
□これがほんとうの新中國だ
〔實業展望二八の一二〕……宿谷　榮一
□臺灣の地理區域
〔地理學評論二九の一一〕…陳　正祥
□東京「水滸傳」
〔經濟往來八の一二〕
□中國で會つた人たち
〔文庫六三〕……村松　暎
〔一九五七年一月—九月〕
□ハーヴァード大學における中國研究
〔外政四〕……石川　忠雄
□新中國を旅して
〔世界の勞働七の二〕……安恒　良一
□中國留用生活十年（座談會）
〔世界一三四〕……加地　信他
□二度見る中國
〔新日本文學一二の二〕……堺　誠一郎
□中國重慶旅行
〔新日本文學一二の三〕……こばやしつねお
□わたしの洗腦
〔新潮五四の一〕……檀　一雄
□沙漠の都ウルチム
〔世界週報三八の二〕……帆足　計
□新らしい年を迎えるにあたつて—中國朝鮮の旅から
〔部落九の一〕……松本治一郎
□中共の小學生守則
〔學校經營二の一〕
□中國から招かれた考古學者たち
〔學藝手帖一〕……駒井　和愛
□中國の印象
〔學校經營二の五〕……宗像　誠也
□中國を見てきて
〔教育七の五〕……宗像　誠也
□中國の都市見たまま
〔市政六の五〕……名取洋之助
□新中國の旅から
〔北斗二の二〕……竹内　實
□中國を訪ねて
〔東商一二〇〕……五藤　齊三
□甘肅・寧夏の旅
〔地理二の六〕……小竹　文夫
□新中國雜記
〔社會主義六八〕……伊藤永之介
□中共訪問報告
〔社會思想研究九の六〕……曾禰　益
□周恩來歐亞旅行の足あと
〔大陸問題六の四〕
□中國人の見た戰後の日本
〔中央公論七二の五〕……倉石武四郎
□周恩來との二時間（對談）
〔映畫藝術五の六〕……伊藤雄之助他
□芥川龍之介と中國
〔北斗二の三〕……佐藤　一郎
□內田良平の中國觀
〔法律新報六四の六〕……曾村　保信

□新中國のノートから
〔文藝一四の三〕……青野　季吉
□中國についての夢
〔世界一三四〕……長與　善郎
□忘れ難き新中國
〔文藝一四の六〕……宇野　浩二
□大連のこと
〔新日本文藝一二の二〕……城戸　又一
□新中國漫遊記
〔中央公論七二の一〕……那須　良輔
□中國は變貌する
〔中央公論七二の四〕……山田　禮三
□コロンビア大學の中國研究
〔外政六〕……石川　忠雄
□揚子江大鐵橋
〔世界一三九〕
□中國專門記者とその業績
〔新聞研究七二〕……波多野乾一
□新中國を訪ねての感想
〔產業勞働月報一二の三〕…三輪政太郎
□中國見面
〔短歌研究一四の七〕……森岡　貞香
□新中國みたまま
〔中央經濟六の九〕……西　清子
□司香復との再會（紀行）
〔婦人公論四二の九〕……城　千枝
□中國見聞記（一・二）
〔社會主義七二・七三〕……上野　建一
□中國みたままの記（紀行）
〔市政六の九〕……高木　良雄
□中國日記（紀行）（一）
〔心一〇の九〕……伊藤　千春
□ヨーロッパから見たソ連と中國
〔中央公論七二の一一〕……猪木　正道
□禮教喫人
〔文學研究（九州大學）五六〕…目加田　誠